第2回委員会資料
参考資料

分科会	氏名	団体名等
旧庄戸中学校後利用分科会（13名）	吉田　敏生	上郷東連合町会会長
	◎リーダー 芦川　　弘	庄戸二丁目町会長
	別府　正之助	庄戸一丁目町会長
	岡野　光男	庄戸四丁目町会長
	難波　康広	長倉町自治会長
	井川　英生	上郷東地区民生・児童委員
	小池　朋子	上郷東地区保健活動推進員
	三宅　正憲	上郷東青少年指導員協議会
	山口　祐二	上郷東シニアクラブ連合会
	小林　大悟	野七里地域ケアプラザ所長
	見上　正一	栄区副区長
	牧野　道夫	一般参加
	川本　聡胤	一般参加
地域交通分科会（13名）	吉田　敏生	上郷東連合町会会長
	◎リーダー 難波　康広	長倉町自治会長
	内田　克己	上郷町内会長
	武内　守勝	上郷ネオポリス自治会副会長（代理）
	内田　正則	みどりが丘自治会長
	宮崎　猛	上郷東地区消費生活推進員
	亀梨　晴彦	上郷東スポーツ推進委員連絡協議会
	髙橋　理男	上郷東環境事業推進委員連絡協議会
	福島　　雄	上郷地区センター館長
	森田　邦夫	翠風荘所長
	吉田　勲	庄戸バス委員会委員長
	吉井　信幸	上郷ネオポリスまちづくり委員会委員長
	見上　正一	栄区副区長
こども・子育て分科会（7名）	吉田　敏生	上郷東連合町会会長
	◎リーダー 森　　麻紀	庄戸小学校PTA会長
	古川　秀子	庄戸三丁目町会長
	髙橋　勝美	上郷東地区社会福祉協議会
	井川　英生	上郷東地区民生・児童委員
	齋藤　　進	上郷中学校PTA会長
	見上　正一	栄区副区長

平成29年度第1回旧庄戸中学校後利用分科会　会議録	
日時	平成29年7月22日（土）14：15～16：10
開催場所	上郷地区センター中会議室
出席者	委員：吉田委員長、別府委員、芦川委員、岡野委員、難波委員、井川委員、 小池委員、山口委員、小林委員、見上委員 事務局：栄区区政推進課（4名） 横浜市政策局政策部政策課（2名） 横浜市都市整備局地域まちづくり部地域まちづくり課（1名） NPO横浜プランナーズネットワーク（4名） 一般参加者：牧野氏
欠席者	三宅委員
協議事項	１．分科会のリーダー選出 ２．意見交換
内容	●分科会のリーダー選出 庄戸二丁目町会長　芦川委員を満場一致で選出する。 ●意見交換 **＜立地の制約条件を理解して検討する＞** ・厳しい用途等の制限（第1種低層住居専用地域、第2種風致地区）があることを理解して、検討を進めるべきである。 ・許可条件を満たして、特定行政庁（横浜市）が認めれば、制限が緩和される可能性がある。 **＜経団連との関係＞** ・経団連の立場は、地域の要望に対して企業から提案をしてもらい、意見交換を行う。 ・経団連に属する企業なので、事業性が前提となる。 ・「地域活動サービス」「福祉サービス」提案の2つについて経団連から企業提案を受けられるか投げかけてみてはどうか。 **＜旧庄戸中学校の財産処分手法について＞** ・未定。地域が何をしたいかを整理したうえで、庁内調整を行い、後利用を決定していく。（区） **＜活用案の紹介＞** ・委員、参加者からいくつかの私案の紹介、説明があった。 ①野菜工場・施設を中心とした福祉・地域交流・レストランなどの複合施設 ②地域交流施設

	＜分科会の目標や進め方について＞ ・地域の意見としての活用案をまとめるのが分科会の目標である。 ・主体は地域で考えるが、実現の可否は別にして 10 年、20 年先を見て今何が必要かを考えた上で地域の意見をまとめることが必要である。 ・そのためバラバラに出ている要望や意見を、具体的に、総合的に各委員が理解、検討して一つの案としてまとめられるよう具体的な議論を進めたい。 ・庄戸トンネルの上部利用との一体的活用も併せて検討する。 ・9 月に予定されている経団連の提案企業との意見交換には、この様に使いたいという共通理解は持てるようにまとめたい。 ・野七里地域ケアプラザが担当している上郷東地区の相談から見える今後必要なことを提案したい。 **＜次回の分科会について＞** ・冒頭で、分科会の守備範囲を明確にする。 ・8 月 13 日（日）10 時から　上郷地区センター中会議室を予定 **●今後の進め方の確認** 次回は各自が考えている具体案を出し合って、一つの案に整理する検討を行い、基本的な活用案をまとめる。
資料	・議事次第 ・【資料】旧庄戸中学校の現状、今後の予定など（パワーポイントコピー） ・【資料】用途地域内の建築物の用途制限一覧表

平成29年度第２回旧庄戸中学校後利用分科会　会議録	
日時	平成29年8月13日（日）9：30～10：00　旧庄戸中学校施設見学 10：00～12：10　会議
開催場所	庄戸中コミュニティハウス　図書室（当日、和室から図書室に変更）
出席者	委員：吉田委員長、芦川委員（リーダー）、別府委員、岡野委員、難波委員、 井川委員、山口委員、小林委員 事務局：栄区区政推進課（４名） NPO横浜プランナーズネットワーク（2名） 一般参加者：牧野氏、川本氏
欠席者	小池委員、三宅委員、見上委員
協議事項	１．活用案の紹介（3提案） ２．意見交換
内容	**●活用案の紹介** 提案者から下記3案の説明がある。 ①芦川委員 ・地域交流施設、健康増進施設、桜を中心とした名所づくり、ハイキングコースを整備して拠点にするなど、校舎、校庭、地域ごとに提案。 ・運営はＮＰＯ法人として一括運営する。 ・4階建て校舎棟は、民間介護福祉施設、病児のための子ども医療センター的な施設にする、などが考えられる。 ②小林委員 ・地域ケアプラザの業務からみて、地域の中に何があると良いか？の視点で提案。 ・昨今、総合相談件数が増加傾向にあり、特に訪問相談の伸びが顕著である。 ・介護保険で賄えない通院や買い物など、日常生活支援のニーズが増加している。 ・求められる施設は、「地域開放多世代交流スペース」「高齢者入所・通所事業所・運動施設」「子育て支援拠点」「障害者通所事業所」「総合案内・相談所」「コミュニティハウス機能」「地域防災拠点」である。 ・実現するためには地域の方々が関わり、公民が連携することが必要と思う。 ③牧野氏（前回に続き追加説明） ・野菜栽培は、中学校施設を地域コミュニティの中心にするための魅力づくりとして提案している。「健康野菜」を栽培し、販売して、食べられるようにする。 ・利益を生む事業で、六次産業などへの広がりのある事業で、雇用を生む。 ・利益を中心にしてミニバス運行をする。 ・地域の農家もウエルカムであると言われている事業で、学校給食に適している。 ・トンネル上部の利用、円海山ハイキングコースを遊歩道でつなぐなどにより、富士山の見える名所にしたい。

	●活用提案を受けての意見交換 ・夏祭り時の住民アンケート結果が、概ね反映された提案である。 ・地域コミュニティ活動拠点と高齢者施設を中心とする計画にしたらどうか。 ・若い世代が入ってきやすいようにすることも重要である。 ・独自のコミュニティハウスを作る。 ・ミニバスは実現したい。しかし、実現には企業との協力、体制が必至である。 ・来街者が増えるのは良いが、ネックになるのは駐車場。周辺の合意を得ないと整備もできない。 **＜生活困難地域にしない＞** ・10 年たつと、生活困難地域になるのではないか。免許証返上者も増加しつつあり、生活防衛が必要と思う。 ・終の棲家になり得るか？　が実感である。世代交代が一層進まないと大変なことになる。 **＜用途規制について＞** ・住民が推している用途であれば許可されている例もある。 ・建築基準法の許可で、第三者の審査もありハードルは高い。しかし、国交省でも高齢化による生活のしやすさを考慮すべきという考え方も浸透してきている。 ・4 月にコンビニは先行して緩和された。厳しい許可条件により運用されている。 ・横浜市は来年度から建築局で緩和策等の検討作業を進める予定である。 ・商業活動は必要で、規制緩和を期待している。 ・既存商店街の店舗は殆ど撤退して、活性化は現実的では無い。 **＜分科会の進め方＞** ・経団連傘下の企業が買い取れば、利用の前提条件も変わることを承知の上で、検討を進めて欲しい。 **＜次回の分科会について＞** ・段階を踏まえた提示をする。 第一段階は、本日提案された内容をいくつかの枠組み、フレームで提示する。 地域利用施設、高齢者の生活支援施設、子供や青少年のための施設、働く場や仕事づくりなど、事業の仕組みや個別事業の提案は、次の段階とする。 ・タタキ台を横浜プランナーズネットワークが作成する。 **＜次回の分科会＞** ・9 月 2 日（土）15 時 30 分から 17 時 30 分 庄戸中コミュニティハウス　図書室を予定

	・本日の提案をもとに、経団連に投げかける活用案を検討する。
資料	・第１回分科会会議録 ・【資料】旧庄戸中学校施設の配置図、平面図（A3版１枚） ・【資料】第一種低層住居専用地域内の用途制限など （フリー百科事典「ウイキペディア」の引用） ・【活用案提案資料】新たに下記資料を配布。 ①「庄戸の元気づくり」実行委員長、民生委員代表としての提案 ②野七里地域ケアプラザ提案 ※他、前回分科会で配布の活用案資料あり。

平成29年度第３回旧庄戸中学校後利用分科会　会議録(案)	
日時	平成29年９月２日（土）15：30～17：30
開催場所	庄戸中コミュニティハウス　図書室
出席者	委員：吉田委員長、芦川委員（リーダー）、井川委員、小林委員、別府委員、 山口委員、見上委員 事務局：栄区区政推進課（３名） 横浜市政策局政策部政策課（１名） NPO横浜プランナーズネットワーク（２名） 一般参加者：牧野氏、川本氏
欠席者	岡野委員、小池委員、三宅委員、難波委員
協議事項	１．企業提案に向けての意見交換・整理
内容	**●次第（案）の説明、確認** ・修正意見なしのため（案）を削除し、資料として採用する **●前回議事録（案）の説明、確認** ・修正意見なしのため（案）を削除し、資料として採用する **●資料説明** **＜事務局より＞** １．庄戸夏祭りアンケート集計結果報告 ２．活用案取りまとめ資料の確認 **●意見交換　＜庄戸夏祭りアンケート集計結果について＞** ・夏祭りは参加者の約半数が40歳代で、庄戸中学校の同窓会的雰囲気もあったので地区全体の回答とは考えにくい。 ・地域の活性化には交通アクセスの改善が必要であることを再確認できた。 ・定年退職後と思っている人は、交通の便が良くなると思っていないからというのが本音ではないか。 ・眺望が素晴らしいことが地区の魅力である。3月末までに、庄戸中学校の屋上からこのまちを見て、まちの活性化を考えるイベントをしたらどうか？ ・スーパーマーケットが欲しいという回答もあるが、地域に購買力がないのが現状である。 ・スーパーマーケットの要望は庄戸のアンケート結果だからで、上郷東地区内にはスーパーが2か所ある。 **●企業提案に向けての意見交換** **＜とりまとめ案について＞** ・乳幼児からお年寄りまでの福祉的視点が必要である。総合的に設置出来れば大勢の人が享受できる。 ・コミュニティや福祉活動の中心となる世代を超えた活用が出来る施設に絞るのはどうか。雇用創出のできる野菜工場も含めて考えることもできる。 ・核とした施設を絞ることは出来ない。 ・これをそのまま出して、意見交換の場で補足したらどうか。 ・売ったり壊したりしないで、市の施設として現状施設を活かして使わせて欲しい。 ・その上でこのような利用がしたい、活性化したい、ということになるのではないか。

	＜管理運営方法について＞ ・管理運営の形態まで考えていることがプラス出来れば地域の意向が明確になる。 ・管理運営の体制は、スポーツ施設、コミュニティハウスといった利用施設ごとに検討していくことも考えられる。 ・今まではボランティア活動で運営出来ていたが、それではやりきれなくなっている。 ・ＮＰＯ組織や住民参加の団体の設立も視野に入れて新しい組織・団体をつくる。 ＜経団連との関係＞ ・経団連の参加企業と意見交換するからといって、当該企業が進出してくるわけではない。地域の意見を、企業がどのようなことが出来るか、どう考えるかに繋げたい。 ・未利用の公共施設を、経団連傘下の企業が後援して地元団体が運営している鳥取県のほうき町の事例紹介。 ・企業提案のメインサービスにも健康づくり・介護予防の促進などがある。 ・経団連も、地域が参画しないと活性化につながらないと思っているようだ。 ・総括的に述べられているので経団連としては受けることが可能だと思う。 ・経団連とはこの分科会が中心となるので、他の分科会の情報も提供しながら議論したい。 ＜活用案追加資料の説明＞ ・廃校を利用した「野菜工場」の紹介があった。 ・目標は地域の活性化で、地域ブランド（庄戸中学ブランド）につなげたい。 ・将来的には道の駅やテーマパークをめざしたい。 ・経団連に利益を出してもらい、ミニバスの運行など地元に還元してもらう。など。 ＜その他＞ ・当地区には、市独自の特区的な配慮も必要ではないか。 ・上郷東地区は一律ではない。地域により特性は異なる。 ・現住民の発想だけではなく、長期的視点で検討したい。 ・ネオポリスはダイワハウスと共に、自治会としても新しい街づくりの動きをしているので、参考にしたい。 ＜まとめ＞ ・高齢者の問題と若い人の問題は一体でもあるので①④を一つにくくり、タイトルを付ける。 ・原案を若干修正して、リーダーと委員長の確認を得た後、経団連に提出する。 ＜次回の分科会について＞ ・日程は、後日連絡する。経団連に提出した資料、来訪する企業を連絡する。 ・経団連に市が説明した後、参加企業の紹介を受けるので１か月後位になると思う。 ・企業が入る場合は平日の夜になる場合もある。
資料	・次第（案） ・第２回分科会会議録（案） ・【資料】上郷東地区まちの再生・活性化に関するアンケート　集計結果 ・【資料】活用案とりまとめ資料　Ａ3版１枚 ・活用案の追加資料　廃校利用の野菜工場関連

平成29年度第1回地域交通分科会　会議録	
日時	平成29年7月22日（土）16：20～17：40
開催場所	上郷地区センター 中会議室
出席者	委員：吉田委員長、難波委員、亀梨委員、武内氏（鈴木委員代理）、吉田委員、吉井委員、森田委員、福島委員、見上委員 事務局：栄区区政推進課（４名） 横浜プランナーズネットワーク（４名） 横浜市都市整備局地域まちづくり課（１名）
欠席者	内田(克)委員、内田(正)委員、宮崎委員、高橋(理)委員
協議事項	上郷東地区まちの再生・活性化委員会　地域交通分科会
内容	●分科会リーダーの選出 リーダーは難波氏に決定。 ●今までの経過報告 ＜道路事業について＞ ①上郷公田線、H32年度完成予定。 ②環状４号線 ・本郷小学校交差点～神中車庫前はH32年度までに着手予定。 ・神中車庫前～神戸橋は着手時期未定。 ・上郷交差点の改良、光明寺バスベイ切込を実施済み。神奈中車庫前の区画線見直し予定。 ●当該分科会の目的・役割と取り組み方 ・当該分科会は、平成28年度に策定された「上郷東地区まちづくり構想」に基づき、平成29年度及び30年度の2年間で、まちの再生・活性化に資する地域交通に関し、具体的な検討等を行う。 ・短期的には、上郷東地区の道路事情の現状について、またバス路線再編を見据えたアンケート調査について、地域住民の視点から行政に対して要望／助言を行う。 ・長期的には、居住地とバス停の間に坂道が多いなどの地域事情、少子高齢化等人口構成の現状と今後の見通し、それらに伴う地域住民のニーズの推移等を考慮の上、地域交通の在り方について検討を行い、結果を委員会を通して区役所に報告する。その際、地域内外の各種施設（病院、老人福祉センター、ケアプラザ、日常の買い物施設等）の配置と特性、他所での同様の取り組みについての成功／失敗事例、前年度までの「上郷東地区まちづくり協議会」の検討等過去の取り組み等を参考とする。

	●今後の取り組み ・上郷公田線を利用したバス路線再編を見据え、目的、手段、頻度など移動実態のアンケート調査を 11 月～12 月に実施予定。 ・環状４号線は改善策とその課題を整理する。 ・その他の交通手段として、容易な移動手段も検討する。 ●意見交換 ＜現状や今までの経緯＞ ・庄戸バス委員会から増便の交渉を繰り返したが、減便となった。路線廃止だけは阻止してほしい、と要望している。 ・実態として利用者は減っていないのではないか。敬老パスを持つ人は増えているが、乗客としてカウントはできていないと思う。 ・新しい路線の開設も提案したが、車庫が満杯。乗務員の手当てができない。 ＜コミュニティバスや地域交通サポートについて＞ ・庄戸とネオポリスを周遊するバス路線ができて便利になった。このようなバス路線の再編成の検討をこの分科会でしていきたいと思っている。 ・道路局に地域交通サポート事業があるが、地域をあげてバス利用の運動を行った事例もある。この事業は、地域によるコミニティバス運行や、バス路線再編成に向けた取組の支援をしている。 ・庄戸のバス委員会で以前コミュニティバスを検討した。1 台 365 日路線を走らせると、年間 1000 万円かかる計算となり断念した。 ・翠風荘に年間４万人が訪れている。連携して利用者が増えれば、バス路線について交渉することもできる。 ・金沢区では、山間は坂が急なのでミニバスを運営したところ、バス全体の運行効率が上がっている。 ・地域交通については、幹線道路が整備されても、高齢化が進んでいるので数年かけても検討すべき事項である。 ●次回以降の分科会について ・次回分科会は８月 26 日(土)午前中を予定。 上郷公田線の概要（当該路線完成後の渋滞緩和効果等、事前検討結果を含む）や、現状のバス路線、渋滞データ、コミュニティバス事例について基礎情報を説明したうえで、意見交換を行う。 ・今後の予定としては、９月の第３回分科会は移動実態アンケート内容の確認、11 月の第２回委員会はこれまでの分科会活動の中間報告、２月の第３回委員会はアンケート調査の中間報告を行う予定。
資料	・次第　　・現状や取組を説明するパワーポイント

平成29年度第２回地域交通分科会　会議録	
日時	平成29年8月26日(土)　10：00～11：30
開催場所	野七里ケアプラザ　多目的ホール１
出席者	委員：吉田委員長、難波委員、内田(正)委員、武内委員代理、宮崎委員 亀梨委員、福島委員、吉田勲委員、吉井委員、見上委員 事務局：栄区区政推進課（３名） NPO横浜プランナーズネットワーク（２名）
欠席者	内田(克)委員、髙橋(理)委員、森田委員
内容	●次第・議事録の確認 ・次第→承認 ・議事録の「当該分科会の目的・役割と取り組み方」の３項目目、「委員長に報告」から「委員会を通して区役所へ報告する」に修正→承認 ●前回の質問事項に対する回答 ①上郷公田線の概要 ②既存のバス路線 ③渋滞状況 ④地域交通サポート事業（コミュニティバス）の事例 それぞれ添付資料を用いて説明。③についてはプロジェクターにて説明。 ＜バス路線について＞ ・神奈中によると、バスの台数、運転手、車庫のキャパシティからこれ以上増便は不可能。もしどこかを増便したらどこかを削る必要がある。 ・今以上のバスの増便は困るという意見もある。住民対策は地元がするべきことなので、早めにクリアーにしたい。 ・上郷公田線を利用したバス路線の開設を確かなものにしたいので、要望を少しでも早くしたい。バス停の位置なども早く決めて住民の理解を得ることが必要。いつまでに地元要望を出せばいいのか。 ・現状は、それぞれのエリアで独立したバス路線になっている。 ・バス路線やバス停の位置についての要望を早急に出す必要があれば、分科会開催頻度を再考しなければならない。 ・バス路線は折り返しではなく、循環路線にしてほしい。 ＜地域交通サポート事業について＞ ・以前庄戸で検討したが費用が 1000 万円/年の試算となり断念し、現在のバス路線維持に努める方針となった。 ・デマンドバスについて以前運輸省に問い合わせたが、過疎地域対象であるため上郷東地区は対象にならないそうだ。 ・事例の中で、上矢部地区の既存バス路線の再編の取組に近い。

	・金沢区の小型バスは住宅地の奥まで入るが、道路幅が狭くて通常の路線バスが入れない地域を対象としている。庄戸は既存バスがあり広い道路もあるので対象とならない。金沢区が実現しやすかった面があるか。 ＜地域の交通事情＞ ・神奈中車庫前の交差点の信号、当初は時差式だったが、個人による要望でボタン式になった。それにより渋滞がより発生するようになったと感じる。 ・スピード感を持って個人要望の吸い上げを行うことも大事だが、地元自治会への相談がなかったのはいかがなものか？とのコメントがあった。 ・歩道が狭い上に電柱があるため危険。 ＜アンケートについて＞ ・11 月～12 月に、地域交通実態調査のアンケートを実施する予定。 ＜その他＞ ・ネオポリスでは自治会として交通に関して検討している。 ＜次回の分科会について＞ ・バス停設置等の今後のスケジュールと要望時期 ・地域交通実態調査のアンケート案 ・金沢区のコミュニティバス事例紹介 ＜次回の分科会＞ ・9 月 30 日（土）10 時からを予定。場所は追って通知する。
資料	・次第 ・第 1 回地域交通分科会会議録 ・上郷公田線パンフレット ・栄区バスマップ ・上郷東地区からのバス本数概略図 ・上郷公田線工事説明会資料抜粋（渋滞状況について） ・地域交通サポート事業概略、事例

平成２９年度第３回地域交通分科会　会議録(案)	
日時	平成 29 年 9 月 30 日（土）10：00～11：50
開催場所	野七里ケアプラザ　多目的ホール１
出席者	委員：吉田委員長、難波委員（リーダー）、内田（正）委員、内田（克）委員、 武内委員代理、高橋（理）委員、宮崎委員、吉井委員、見上委員 事務局：栄区区政推進課（3 名） 横浜市都市整備局地域まちづくり課（1 名） 横浜プランナーズネットワーク（2 名）
欠席者	亀梨委員、福島委員、森田委員、吉田委員
内容	●次第・前回議事録の確認→了承 ●資料等の説明 ①庄戸夏祭りアンケート集計結果報告 ・旧庄戸中学校後利用分科会で出された意見も併せて紹介。 ②移動状況に関するアンケート調査（素案）について ③上郷公田線のバス路線新設に向けた取組について ・バス路線再編等の最終決定は、バス事業者の判断（需要予測や採算性等） ・バス停の位置は、効率的な運行、道路構造上や道路交通法上の制約、地域要望等に配慮して関係機関と協議・決定。バス停付近の方の理解が必要 ●意見交換 ＜庄戸夏祭りアンケート集計結果＞ ・Q4-2「どのようなまちになればまた住みたいと思いますか」の回答選択肢に、「こども・子育て支援がより充実すれば」があれば好ましかった。 ・アンケート調査票には、趣旨、利用目的を明確に記入してほしい。 ・昨年の調査結果と比較してはどうか。 →会議後栄区役所追記：質問項目が違うので比較はできません。 ・同じアンケートを他地域でも行うとよいのではないか。 ・他分科会とも連動する内容なので、情報は共有したい。 ＜移動状況に関するアンケート調査（素案）について＞ ○アンケート概要等について ・目的と活用方法については、整理しより明確にする。 ・対象者 3,000 名以上予定。上郷東・上郷西・本郷中央連合の 3 連合に属する 21 町から無作為抽出の予定である。 ・項目は、地域交通サポート事業で行っているアンケート項目を参考にしている。町名別で分析する予定。 ○設問について ・【問 4】①、外出の目的は一つとは限らない。目的に関わらず外出する頻度がわかれば良いのではないか。 ・【問 4】⑧の『今後、～』という表現は『本来なら、～』の方が適切ではないか。表現は再考する。 ・素案に加えて、分科会から追加したい設問があるか諮ったが、十分な内容ということで

	「追加なし」と決定。 ・今回アンケートは、12 月上旬までに配布、年内に回収、1 月から集計・分析、3 月下旬にはまとめたい。まとまり次第、速報を出して共有したい。 ・H30 年度は、今回の集計・分析結果を総合的に判断して上郷公田線に関連するバス路線を検討する。その内容を踏まえて、H31 年度に需要調査を実施したいと考えている。 ＜上郷公田線のバス路線新設に向けた取組について＞ ・まずは、バス路線の新設を要望することを確認し合うのが重要である。道路供用開始とバス路線はセットが望ましい。その延長として、上郷東地区をどのように運行したらいいかという順になる。 ・区は地域の要望とアンケート結果等を材料に、バス事業者と調整したいと考えている。 ・バス事業者は、市営バスが入る可能性もあるが、次のステップの問題である。 **・決議事項** **下記の項目を当分科会の要望事項とすることを<u>全員の賛同</u>で決定した。** **1. 上郷公田線の供用開始に伴い、バス路線を新設すること。** **2. 渋滞を解消し、将来の地域活性化につなげるため、環状 4 号線の早期改善・整備を図ること。** ・上記決議事項に関連して、「神奈中車庫前交差点整備」や「安心して歩ける歩道整備」の意見があった（決議事項ではない）。 ＜その他＞ ・バス新路線が出来ることによって、バスツアーなどへの利便性が高まり、当地域は交通の要所になる。 ・今日の分科会の結果を 10/12（夜）の庄戸のバス委員会定例会で経過報告を口頭でさせてもらいたい旨の意見があり、了承された。 ＜次回の委員会（11 月 25 日 9：30～地区センター）に向けて＞ ・本日の議事録をもとに報告する。 ・委員会前に本日の議事録を確認する必要があるが、内容確認は委員長とリーダーに一任する。 ・他の委員に理解してもらうため、分科会でこれまで配布してきた説明資料のいくつかを、議事録と併せて用意する。 ＜次回の分科会について＞ ・12 月 16 日（土）10 時から　場所は追って連絡する。 　バスルート等の地元要望等があれば各町内会でまとめてもらう。 ・委員会の報告及びバスルート検討（地図を使ったワークショップ）を行う。
資料	・次第 ・第 2 回地域交通分科会会議録 ・上郷東地区まちの再生・活性化に関するアンケート集計結果 ・移動状況に関するアンケート調査（素案）

平成２９年度第１回こども・子育て分科会　会議録	
日時	平成 29 年 7 月 22 日（土）12：30～13：30
開催場所	上郷地区センター
出席者	委員：吉田委員長、高橋（勝）委員、 井川委員、森委員、齋藤委員、古川委員、見上委員 事務局：栄区区政推進課（3 名） 横浜プランナーズネットワーク：内海、古居、鈴木
欠席者	
内容	●分科会のリーダー選出 庄戸小 PTA 会長　森委員を選出。 ●事務局からテーマの絞り込みに関して説明 ＜年齢別人口変化＞ ・地域内で子育て世代の人口が、減っており、9 歳以下は、さらに減る傾向がある。 ・若い人が減少傾向にあるなか、多様な世代が住み続けられる住宅地としていきたい。外からもここに住みたい人を増やすような取り組みを行う必要がある。 ・こども・子育て世代の住み替え促進に向けて検討する。上郷東地区の魅力（静か、緑が多い、安全）を継続的に発信したい。 ・お試し居住キャンペーン（空家を利用して 1 年から 2 年程度で居住者を募集）の事例調査をしている。 ・地域主体のイベント企画や地域交流の場づくりなど継続的な取組も検討したい。 ●意見交換 ＜若い世代を増やすには＞ ・適当な時期に、若い世代の居住者を増やすことが大事。 ・共働きや若い世代にとっては、子どもを預けられる施設やサービスの充実度が重要である。 ・若い世代も持ち家志向だと思う。 ＜イベントや施設整備等のアイディア＞ ・貸すほうも、借りるほうも安心してお試し居住ができるような、仕組みがあるといい。 ・旧庄戸中学校跡地や本郷台駅前を子どものための施設にするのはどうか。 ・子ども食堂のニーズが上郷東地区にあるのか見極めたい。民生委員、上郷東連合としても協力していく。 ＜地域の現状など＞ ・上郷東地区の中では、長倉町への若い世代の転入が他地区より多くあるようだ。 ・上郷町の 4 号線沿いに引っ越した人に聞いたが、住環境が良く、困っていない

	と聞いた。 ・庄戸小と上郷中で連携しており、進路実績も良好。地域の長所のひとつである。 ＜進め方など＞ ・東連合区域の若い世代の意見を取り入れながら進めていきたい。 ・25 歳から 35 歳、特に小学生を持つ世代が増える方法を考えたい。 ＜次回の分科会＞ ・９月以降に PTA で何かしら意見を聞いてから開催するのがよいのではないか。
資料	・議事次第 ・【資料１】事業説明がわかるパワーポイント資料

平成２９年度第２回こども・子育て分科会　会議録(案)	
日時	平成 29 年 10 月 28 日（土）15：30～17：00
開催場所	上郷地区センター
出席者	委員：吉田委員長、高橋（勝）委員、井川委員、森委員、齋藤委員、古川委員 事務局：栄区区政推進課（3 名） 横浜プランナーズネットワーク（2 名）
欠席者	見上委員
内容	●次第・前回議事録の確認→了承 ●資料等の説明 ①庄戸夏祭りアンケート集計結果報告 ・来場者は 30-40 代が多かった印象。「庄戸中学校の同窓会」のようになっている。 ・Q-2 上郷東地区に必要なものとして「こども・子育て支援」を 32 人が選択している。回答者の年齢とクロス分析してほしい。 ・これまでのアンケート結果と同じ傾向。環境が良く、子育てに適している。交通の便が悪いが車で移動しているので不便は感じない。 ●他の分科会の活動報告 ・中学校の後利用については、地区全体にかかわる検討であり、子育てに関連した内容も含まれている。 ●住み替え事例の説明（山北町のお試し住宅の事例を中心に説明） ・山北町の「定住促進のための 30 の重点施策」は参考になる。 ・並木団地再生のための金沢区と横浜市立大学との連携、横須賀市と関東学院大学との連携、佐島の開発（逗子駅と住宅地のシャトルバスの運行）、湘南国際村（ホームステイに耐えられる住宅）、相模原市藤野町（神奈川県）の「芸術の道」や「アートビレッジ」等、参考になる。 ・都心に通勤することを前提にしない暮らし方や働き方（横浜・川崎で働く、在宅ビジネス等）を考える必要がある。 ・若い世代が環境に魅力を感じて庄戸へ移り住んだという例がある。鎌倉や逗子・葉山の教育環境(インターナショナルスクールなど)も魅力になっている。 ●PTA のヒアリング報告 ・専業主婦が多い。 ・住まいとして選んだ理由は自然が多い、土地か広い、学校が近くにある、子育て環境が良い(繁華街がない)などが挙げられている。 ・車が運転できるので不便はないが、運転できなくなると不安という声もあった。 ・中学生・高校生のいる方からはバスの本数が少ない、大学生のいる方からは終バスの時間が早い、という意見があった。 ・上郷小学生の生徒、上郷幼稚園の園児が減っている（100 人以下になった）。 ・庄戸中の跡地利用は影響が大きいのではないか。 ・近くに働く場所がほしい。子どもが小学校高学年～中学生になるとほぼ共働きになる。(小学生高学年になるとパート、中学生になると正社員希望が多い)

	・鎌倉に有名な中学等があるので、通学圏の上郷東地区が羨ましいという人もいた。学校に通っている期間だけでも住宅を借りて通うことができると良い。 ●意見交換 ・上郷台共同住宅（賃貸）には空き室が結構ある。最近は高齢者の入居が多い。 ・自体風潮として、共働きがこんなに増えると思わなかった。 ・若い人が町のことを考えるようにしていく必要がある。 ・医療・介護は働く場として可能性がある。情報としてあった方が良い。 ・他から若い世代に来てもらうというよりは、自分たちの子どもや孫を地域につなぎとめる工夫をする必要がある。 ・子ども食堂へ取り組んだが、この地区では需要がなかったので、放課後の居場所を「子供カフェ」として考える方向になった。今年度中に少し具体的に動くことになり、分科会に関連する取り組みとして期待している。 ・栄高校周辺を整備し、子供たちが「農」に触れる機会をつくることも検討している。 ・地区センターをつかって「寺子屋タイム」を開催している。あまり知られていないが、もっと地区内に拡大して行く方向もある。 ・鎌倉女子大など大学生の協力を得て、学習支援をすることも考えられる。食の支援もあるが教育支援も必要。 ・小学生がいる世帯は地域とのつながりがあるが、中学生、高校生になると地域とのつながりが薄くなる。密でなくてもいいが、地域との繋がりを維持し続けて行くことが重要。 ・1、2 月の晴れた日に中学の屋上から改めてまちを見るというイベントについて検討してみてはどうか。 ●次回委員会（11 月 25 日 9：30～地区センター） ・11 月 25 日（土） 9 時半～11 時、上郷地区センターで第 2 回委員会を予定している。 ・委員会では、各分科会の活動報告を考えており、本分科会は経過報告を中心にする予定。 ●次回分科会 ・年明け開催を予定（1 月後半から 2 月開催で改めて調整する）。 ・取り組みのアイデア出しなどについて話し合う。
資料	・議事次第 ・【資料 1 】第 1 回こども・子育て分科会　会議録（案） ・【資料 2】上郷東地区まちの再生・活性化に関するアンケート　調査票と集計結果 ・【資料 3】住み替え事例（山北町の取り組み）